

## 2017（平成29）年度「ほっと越谷」企画委員活動実績

1	5月16日（火）	午後6時30分～8時	第1回企画委員会議
2	6月7日（水）	午後6時30分～8時30分	第2回企画委員会議
3	7月12日（水）	午後6時30分～8時30分	第3回企画委員会議
	7月23日（日）	午前10時～11時30分	ブックフェア展示準備
	7月23日（日）～ 8月31日（木）		ブックフェア
4	8月27日（日）	午後2時～4時	第1回ブックサロン
5	10月4日（水）	午後6時30分～8時30分	第4回企画委員会議
6	12月6日（水）	午後6時30分～8時30分	第5回企画委員会議
7	1月28日（日）	午後2～4時	第2回ブックサロン
8	3月14日（水）	午後6時30分～8時30分	第6回企画委員会議

「ほっと越谷」ブックサロン

2018 ほっと越谷

# 本からさがそう 新しい私 No.2

◆「ほっと越谷」では、男女共同参画をテーマにした本を、木・日曜日に貸し出しています。◆「ブックサロン」は、あなたが選んだ本を手に語り合う楽しいひととき。本はどのジャンルからでも自由にお選びください。◆**地の参加者のお話しを聞くだけの参加も大歓迎です。**

2018 **1.28**（日） 14:00～16:00

市民による「ブックサロン」の企画委員が選んだ「私の一冊」をご紹介します

『百まいのドレス』  
「あなたドレスを何まいお持ち？」とからかうベギー。「百まい」と迷わず応えるワング。それをきいていて困ってしまうマデライン。さて、3人の女の子たちは？

『少年の名はジルベール』  
「それよりもさ、みんなそれぞれが、まずは自分たちにできることをやる方が先だよ。私たちなら、まず目の前のマンガ。少女マンガでしょう。少女マンガを変えようよ。そして少女マンガで革命を起こそうよ」本文より抜粋

『介護する息子たち 男性性の死角とケアのジェンダー分析』  
本書は、息子としての男性とはどのような存在か、また、どのような存在として理解されているのかを、親を介護する男性「息子介護者」の経験を通して考察したものである。「序章 息子という経験—なぜ息子介護を問うのか—より抜粋

竹宮 恵子  
少年の名は  
ジルベール

定員：15人（申込み順） ■参加費：無料（※駐車場・駐輪場は有料です）  
■保育：保育あり（1歳6か月～未就学児5人 無料）保育しめきり1/19（金）  
■申込み：「ほっと越谷」に電話、FAX、ホームページ、来所でお申込みください。

【問合せ・申込み・会場・主催】  
越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」（北越谷駅東口徒歩1分）  
TEL:048-970-7411/FAX048-970-7412（月曜・祝日は休所）  
ホームページアドレス <http://hot-koshigaya.jp/>  
【協賛】「ほっと越谷」ブックサロン市民企画委員

会場は「ほっと越谷」です



ブックフェア  
「本からさがそう 新しい私」



第2回ブックサロン